本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

USER'S GUIDE
2313 • 2353✻ JA

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

CASIO

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。
誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。

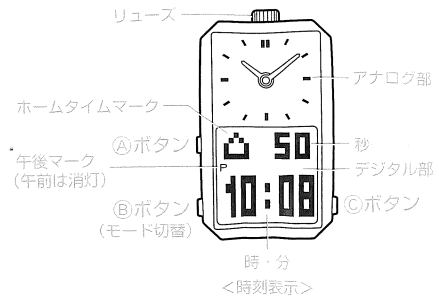


操作のしくみと表示の見方 Ⓑボタンを押すと以下の順でデジタル部のモードが切り替わります。

※機種により、デジタル表示部に反転液晶を使用しているものもあります。
※データバンクモードのまま１～２分間すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。
※どのモードのときでも、Ⓑボタンを約２秒間押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。
※時刻・カレンダーモード、ワールドタイムモードに切り替えたときは、前回このモードで最後に見た表示（時刻またはカレンダー）を表示します。

時刻・カレンダーモード

（機種により形状は異なります）



★表示切り替え
時刻表示のとき、Ⓐボタンを押すとカレンダーを表示します。
※もう一度Ⓐボタンを押すと時刻表示に戻ります。

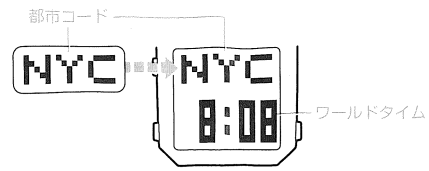


★ホームタイム都市の確認
Ⓒボタンを押すと、ホームタイム都市と時刻を約１秒間表示します。
※Ⓑボタンを押してストップウオッチモードから戻るときも、ホームタイム都市を一瞬表示します。

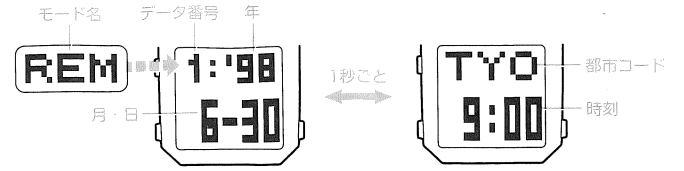
<曜日の見方>

SU：日	MO：月	TU：火	WE：水
TH：木	FR：金	SA：土	

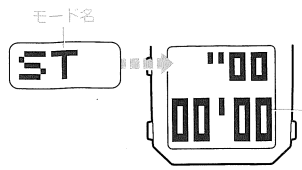
ワールドタイムモード



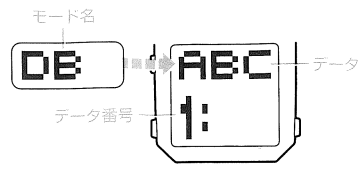
タイムリマインダーモード



ストップウオッチモード



データバンクモード



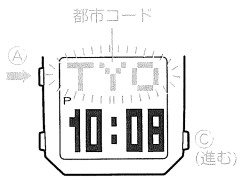
時刻・カレンダーの合わせ方 電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方（ホームタイム都市の設定）

1. セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、Ⓐボタンを約２秒間押します

➡「都市コード」が点滅します。



2. ホームタイム都市を選ぶ

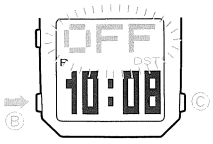
Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに「都市コード」が進みます。（「■都市コード一覧」参照）
※押し続けると早送りします。
※ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行なってください。

3. サマータイム（DST）*のON／OFFを選ぶ

Ⓑボタンを押します

➡ONまたはOFFが点滅します。
※OFF＝通常時間
ON＝夏時間
*サマータイム（DST）については「ワールドタイムの使い方」参照



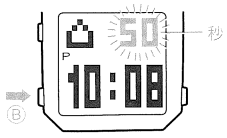
Ⓒボタンを押します

➡ONまたはOFFが切り替わります。

4. 「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

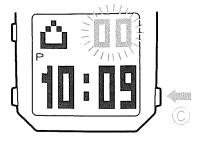
Ⓑボタンを押します

➡「秒」が点滅します。



時報に合わせてⒸボタンを押します

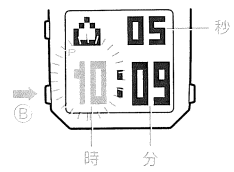
➡「00秒」からスタートします。
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは１分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）



5. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓑボタンを押します**

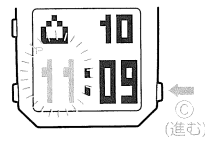
➡Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. **Ⓒボタンを押します**

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。
★「12／24時間制切替」のときは、Ⓒボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制（24H）にご注意ください。
※「年」は1995～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

6. セットを終わる

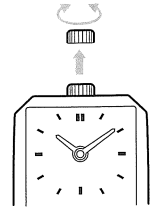
Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま１～２分間すると、自動的に点滅が止まります。

■アナログ（針）部の合わせ方

1. 時計本体裏面からリューズを引いて、運針を止めます。

2. リューズを回して、時刻を合わせます。
※時刻を合わせるときは、針を正転方向（進む方向）に回して合わせてゆき、分針を正しい時刻より４～５分進めてから逆に戻して合わせると正確に合わせることができます。



3. リューズを押し込みます。

製品仕様 （モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）

水晶発振周波数：32,768Hz
精度：〈モジュール2313〉
アナログ部＝平均月差±30秒以内
デジタル部＝平均月差±15秒以内
〈モジュール2353〉
アナログ部＝平均月差±20秒以内
デジタル部＝平均月差±15秒以内
基本機能：アナログ部＝２針（時・分）
デジタル部＝時刻表示…時・分・秒、午前／午後（P）／24時間制表示
カレンダー表示…月・日・曜日、フルオートカレンダー（1995～2039年）
ワールドタイム機能：40都市、サマータイム設定機能
タイムリマインダー機能：都市コード、年月日、時刻（時・分）を10件メモリー
データバンク機能：24文字のデータを10件メモリー
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップ CMOS-LSI
使用電池：〈モジュール2313〉
アナログ部用＝SR527SW　デジタル部用＝CR-1216
〈モジュール2353〉
アナログ部用＝SR521SW　デジタル部用＝CR-1216
※電池は別途販売です。
電池寿命：アナログ部＝約２年　デジタル部＝約３年

ワールドタイムの使い方

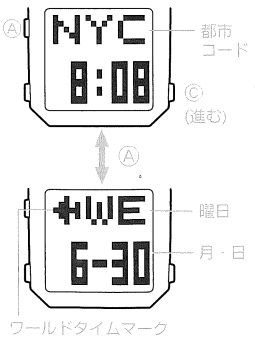
ワールドタイムモードでは、世界27タイムゾーン（40都市）の時刻を簡単に知ることができます。

※時刻・カレンダーモードでホームタイムおよび都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
※ワールドタイムの「秒」はホームタイムの「秒」に連動しています。
※ホームタイムを24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓒボタンを押します

➡ Ⓒボタンを押すごとに「都市コード」が進み、各都市の時刻が表示されます。
※押し続けると早送りします。



★ワールドタイムモードでの表示切り替え

ワールドタイム表示のとき、Ⓐボタンを押すとワールドタイムのカレンダーを表示します。
※もう一度Ⓐボタンを押すとワールドタイム表示に戻ります。

■ サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご使用の際には十分ご注意ください。

■ サマータイムのセット

サマータイムのON／OFFを設定することができます。

ワールドタイムモードのとき、Ⓐボタンを約2秒間押します

➡ "DST" マークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※ "DST" マークが点灯しているときに、Ⓐボタンを約2秒間押すと通常の時刻に戻ります。



■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	国名
PPG	−11	パゴパゴ	アメリカ領サモア
HNL	−10	ホノルル	アメリカ合衆国
ANC	− 9	アンカレジ	アメリカ合衆国
YVR	− 8	バンクーバー	カナダ
SFO	− 8	サンフランシスコ	アメリカ合衆国
LAX	− 8	ロサンゼルス	アメリカ合衆国
DEN	− 7	デンバー	アメリカ合衆国
MEX	− 6	メキシコシティ	メキシコ
CHI	− 6	シカゴ	アメリカ合衆国
MIA	− 5	マイアミ	アメリカ合衆国
NYC	− 5	ニューヨーク	アメリカ合衆国
CCS	− 4	カラカス	ベネズエラ
RIO	− 3	リオデジャネイロ	ブラジル
LON	± 0	ロンドン	イギリス
PAR	+ 1	パリ	フランス

コード	時差	都市名	国名
MIL	+ 1	ミラノ	イタリア
ROM	+ 1	ローマ	イタリア
BER	+ 1	ベルリン	ドイツ
IST	+ 2	イスタンブール	トルコ
CAI	+ 2	カイロ	エジプト
JRS	+ 2	エルサレム	イスラエル
JED	+ 3	ジッダ	サウジアラビア
THR	+ 3.5	テヘラン	イラン
DXB	+ 4	ドバイ	アラブ首長国連邦
KBL	+ 4.5	カブール	アフガニスタン
KHI	+ 5	カラチ	パキスタン
MLE	+ 5	マーレ	モルディブ
DEL	+ 5.5	デリー	インド
DAC	+ 6	ダッカ	バングラデシュ
RGN	+ 6.5	ヤンゴン	ミャンマー

コード	時差	都市名	国名
BKK	+ 7	バンコク	タイ
SIN	+ 8	シンガポール	シンガポール
HKG	+ 8	ホンコン（香港）	中華人民共和国
SEL	+ 9	ソウル	大韓民国
TYO	+ 9	東京	日本
ADL	+ 9.5	アデレード	オーストラリア
GUM	+10	グアム	グアム島（米領）
SYD	+10	シドニー	オーストラリア
NOU	+11	ヌーメア	ニューカレドニア（仏領）
WLG	+12	ウェリントン	ニュージーランド

※この表は1999年12月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

タイムリマインダー機能の使い方

本機では、「年月日／時刻（時・分）／都市コード」のデータを最大10件まで記憶できます。時刻などを覚えておくときに大変便利です。
なお、記憶したデータは、タイムリマインダーモードで記憶した順に見ることがきます。

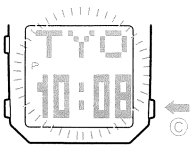
※ホームタイムを24時間制にしているときは、タイムリマインダーモードでの時刻も自動的に24時間制表示となります。

■ メモリーのしかた

時刻・カレンダーモードのとき、Ⓒボタンを約2秒間押します

➡ 表示が点滅して、時刻・カレンダーモードで現在表示(設定)されている「年月日／時刻（時・分）／都市コード」を記憶します。
※最大10件まで記憶できます。

<時刻・カレンダーモード>



★データ入れ替え

記憶件数が10を越えると、データ番号1に最新データが記憶され、以後、順番に番号が繰り下がり、一番古いデータ（データ番号E）が消去されます。

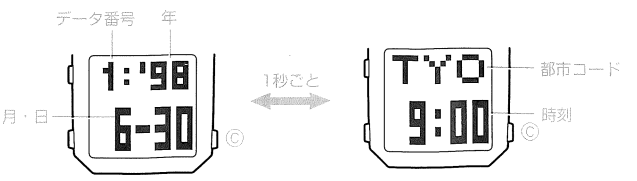
* データ番号Eの「E」は「END」の略語です。

■メモリーしたデータを見る

準備：時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを2回押してタイムリマインダーモードにします。（データ番号1が表示されます）

タイムリマインダーモードのとき、Ⓒボタンを押します

➡ Ⓒボタンを押すごとに最新データ（データ番号1）から順番に表示していきます。
※押し続けると早送りします。
※1秒ごとに「年月日」と「都市コード／時刻」の表示が切り替わります。



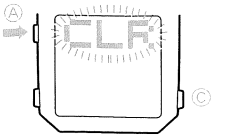
■ データを消去する

準備：時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを2回押してタイムリマインダーモードにします。（データ番号1が表示されます）

1. **タイムリマインダーモードのとき、Ⓒボタンを押して、消去したいデータを選びます**

2. **Ⓐボタンを約2秒間押します**

➡ "CLR" 点滅後、データが1件消去されます。
※ "CLR" 点滅中にボタンから指を離すと、データは消去されません。
※消去後はデータ番号1が表示されます。



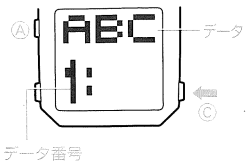
データバンク機能の使い方

データバンクモードでは、1件につき24文字のデータを最大10件（データ番号1～E）まで記憶できます。
*データ番号Eの「E」は「END」の略語です。
※データバンクモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■ データを探す

データバンクモードのとき、Ⓒボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに、データが順番に表示されます。
※押し続けると早送りします。
※データが4文字以上のときは、右から左に流れてスイープ表示されます。（データの最初と最後に“◀”マークがつきます）
※スイープ中にⒶボタンを押すと表示が止まります。もう一度、Ⓐボタンを押すとスイープを再開します。



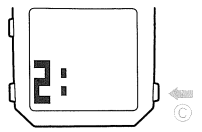
■ データを入力（修正）する

<空きページ>

1. 空きページ（修正ページ）を選ぶ

データバンクモードのとき、Ⓒボタンを押して、空きページ（修正ページ）を表示させます

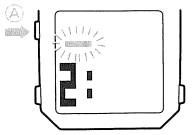
※データがすでに10件メモリーされているときは不要なデータを消去しておいてください。（「■データを消去する」参照）



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押します

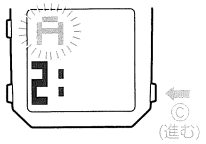
➡データの1桁目が点滅します。



3. 点滅箇所のセット

Ⓒボタンを押します

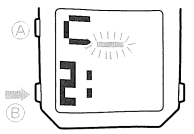
➡Ⓒボタンを押すごとに文字が進みます。
※押し続けると早送りします。



4. セット箇所を選ぶ

Ⓑボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所が「データ1桁目→2桁目～23桁目→24桁目→データ1桁目…」の順で移動しますので、セットしたい箇所を選びます。



3.～*4.*の操作を繰り返して、データを入力（修正）していきます。

※データは最大24文字まで入力できます。
※入力できる文字は、（空白）、アルファベット（A～Z）、0～9、記号（.、－、／）です。

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま1～2分間すると、自動的に点滅が止まります。
※続けてデータを入力したいときは、*1.*～*5.*の操作を繰り返し行ないます。
※データバンクモードのまま1～2分間すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

■データを消去する

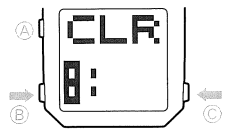
1. Ⓒボタンを押して消去したいデータを選びます

2. Ⓐボタンを約2秒間押します

➡データの1桁目が点滅します。

3. Ⓑボタンと Ⓒボタンを同時に押します

➡“CLR”表示後、データが1件消去されます。
※このとき引き続き他のデータを入力することができます。



4. 消去が終わりましたら、Ⓐボタンを押します

ストップウオッチの使い方

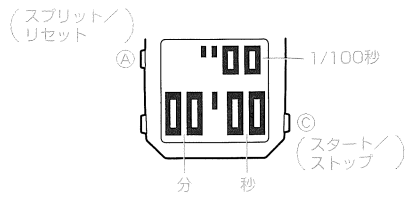
ストップウオッチは59分59秒99（60分計）まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

Ⓒボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします

★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。（スプリットマーク“S”点灯）
★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります。（リセット）



●通常計測

Ⓒ スタート → Ⓒ ストップ → Ⓐ リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒸボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測（途中経過時間計測）

Ⓒ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓒ ストップ → Ⓐ リセット

● 1・2着同時計測

Ⓒ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓒ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

ご使用上の注意

防　水　性
● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

● **表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バ　ン　ド
● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温　　度
● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止ったりすることがあります。
● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック
● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

磁　　気
● 本機は磁気の影響を受けにくい構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に密着、あるいは近づけることはお避けください。強い磁気の影響を受けると一時的に進み遅れが生じることがあります。

薬　品　類
● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保　　管
● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

■お手入れについて

お手入れのしかた
● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
● 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると
● 「サビ」
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
  ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

● 「劣化」
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

● 「かぶれ」
- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
- 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■ 蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。
- 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
- 長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
- プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■ 塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。
- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ 電池交換について

最初の電池
● 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消　　耗
● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換
● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
● 電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

■ 液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。